

令和3年2月1日

保護者の皆様

笠岡市立大井小学校
校長 藤井 孝行

教育アンケートのお礼と集計結果のご報告

保護者のみなさまには日頃より本校の教育活動にご支援ご尽力いただいておりますことを感謝いたします。また、先日は、教育アンケートにご協力をいただきまことにありがとうございます。

アンケートの集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。結果につきましては、令和3年度の学校経営及び学校運営に活かしていきたいと考えております。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年度教育アンケート（保護者）集計結果

A…そう思う B…だいたいそう思う C…どちらともいえない D…そうは思わない

1 学校のこと

- (1) 学校は子どもの実態にそって教育活動を行っている。
- (2) 学校は保護者や地域の人の願いにこたえている。
- (3) 学校の施設・設備は整備されている。
- (4) 学校は安全や事故防止に配慮している。
- (5) 学校はいじめの防止等人権尊重の立場に立った指導を行っている。
- (6) 学校は一人一人の子どものよいところを伸ばそうとしている。
- (7) 学校は子どもの体力づくりを推進している。

		A	B	C	D
1	人	70	94	17	2
	%	38	51	9	1
2	人	59	99	24	1
	%	32	54	13	1
3	人	59	100	22	2
	%	32	55	12	1
4	人	73	97	12	1
	%	40	53	7	1
5	人	58	96	27	2
	%	32	52	15	1
6	人	69	83	27	4
	%	38	45	15	2
7	人	69	88	26	0
	%	38	48	14	0

2 子どものこと

- (1) 楽しく学校生活を送っている。
- (2) 友達がたくさんいる。
- (3) 進んであいさつができる。
- (4) 自分の考えをもって行動している。
- (5) 人の話がきちんと聞けている。
- (6) 先生からほめられると言っている。
- (7) 家の人と話をよくする。
- (8) ゲームやスマホ・パソコンなどのルールを決めている。

		A	B	C	D
1	人	118	54	10	1
	%	65	29	5	1
2	人	101	59	21	2
	%	55	32	11	1
3	人	68	75	34	6
	%	37	41	19	3
4	人	57	87	34	5
	%	31	48	19	3
5	人	51	83	43	6
	%	28	45	23	3
6	人	51	77	48	7
	%	28	42	26	4
7	人	109	53	16	5
	%	60	29	9	3
8	人	150			27
	%	85			15
※	人	49	59	28	22
	%	31	37	18	14

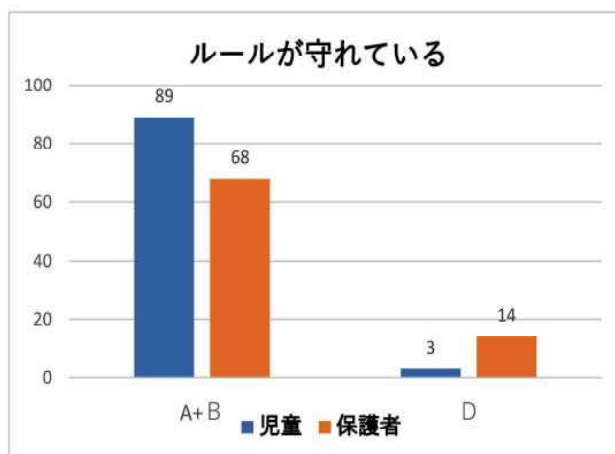
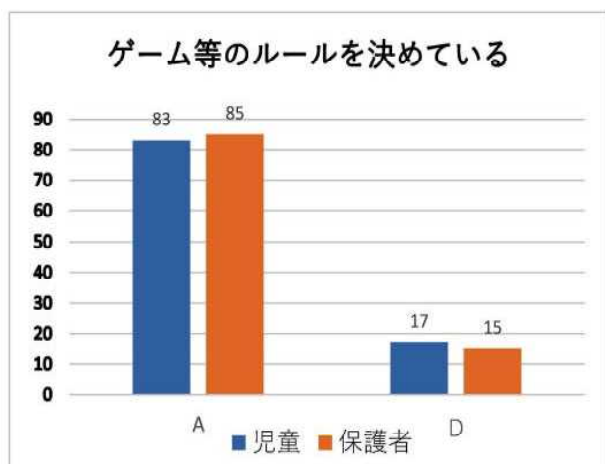
※ 決めている人 → 家でのルールが守れている。

3 学校と家庭・地域のこと

- (1) 学校からの文書やウェブ情報に目を通してしている。
- (2) それらの情報で学校の様子や指導方針がよく分かる。
- (3) 学年通信で子どもの様子や学年の指導の状況が分かる。
- (4) 学校(担任)とのコミュニケーションをとっている。
- (5) 授業参観にいつも参加している。
- (6) P T A活動に積極的に参加している。

		A	B	C	D
1	人	101	73	9	0
	%	55	40	5	0
2	人	77	86	20	0
	%	42	47	11	0
3	人	79	85	17	2
	%	43	46	9	1
4	人	66	79	32	6
	%	36	44	17	3
5	人	106	45	26	6
	%	58	25	14	3
6	人	51	73	44	15
	%	28	40	24	8

- 一昨年度から、「ゲームやスマホ・パソコンなどのルールを決めている」「ルールが守れている」の2項目を追加しています。「ゲームやスマホ・パソコンなどのルールを決めている」に関しては、保護者と児童との間に意識の隔たりはありませんでした。しかし、ルールを決めている児童の内「ルールが守れている」(A+B)と回答した児童は89%、保護者は68%で20%もの意識の隔たりがありました。また、守れていないと答えた児童は3%、保護者は14%でした。



本年度は、P T A人権教育研修会にてネットモラルについて専門家の講話を聞く機会を設けたり、コロナ禍で家庭でのゲームやネット依存が話題になったりして、保護者の皆様の意識は高まっていると捉えています。ゲームやスマホ・パソコンなどの使い方については、「家庭で相談してルールを決める。決めたルールは守る」という姿勢が大切です。ご家族でもう一度ゲームやスマホ・パソコンについて使い方を話し合ってみてはどうでしょうか。

4 子どもの学校でのことで、うれしかったこと (一部)

- 翌日の準備や宿題を頑張って主体的に終わらせるようになったこと。
- 音計が月初めはできなくて時間がかかるが慣れてくると早くなり自信もつき、その姿を見るとうれしくなる。
- 先生や保護者の方が挨拶がよくできているとほめて下さったこと。委員会の仕事や先生のお手伝いがきちんとできていると聞いたこと。
- コロナで行事がなかなかできない状況の中で、代わりに行事をしていただいで親子共々喜んでいました。

5 学校に希望すること (一部)

- 学校が保護者にできる個別のボランティアなど遠慮なく公開して下さるとできる時にできることを学校のために参加したい。
- コロナ禍での運動会や学芸会、三密をさけて学年毎の観覧だったが、とても良かった。いつもよりゆったり見れたこと、スペースがあり、譲り合いができたことなど。種目も少なく、子ども達の負担も少なかった。学芸会も、広々と伸び伸びできていた。
- P T Aの行事、学校の行事の規模と数が今年くらいがちょうどよいのではないかと。保護者、地域交流の質については検証が必要かも。
- たくさんの先生に見守っていただいていると感じることがよくある、とてもありがたい。子供に寄り添った学校運営をしてくださりうれしい。